

リーディングDXスクール事業【実践事例】

世田谷区立中丸小学校

【取組内容】 低学年からのタイピング指導

小学生向けのタイピング練習サイトを活用しながら、日常的にローマ字入力に慣れ親しむことで、児童のタイピングスキルを向上させることができた。学級の児童のローマ字入力速度の平均を取ったところ、**1分間で約67文字入力できるようになった。（小学校3年生）**

タイピング指導で意識したポイントは、以下の3点である。

「ポイント①」ローマ字練習ドリルと並行したタイピング練習

朝学習の時間等を活用し、ローマ字練習ドリルに取り組んでから、タイピング練習を行うことを続けてきた。ローマ字を覚えることがタイピング力の向上につながることを児童が実感し、ローマ字を書く練習への意欲も高めることができた。

「ポイント②」スモールステップでのタイピング練習

小学生向けのタイピング練習サイトを活用し、スモールステップで練習を進めた。最初はキーの配置を覚えるために、キーボードの中段、上段、下段に分けて練習を行った。次に各指の動かし方を覚えるために、指別の練習を行った。ホームポジションを意識して指を正しく動かせるようになってから、速さを意識したタイピング練習を進めていった。

「ポイント③」学習の振り返りを中心とした日常的なローマ字入力

タイピングサイトでの練習は視写して入力をするが、学習で活用する際には、思考しながら入力するので形式が異なる。学習支援ソフトを活用して、学習の振り返りをローマ字入力で行い、提出することを日常的に取り入れた。その結果、何文字書けたかもすぐに分かる上、他の児童の振り返りをすぐに共有することもできるようになった。

